

最適なタイミング、ダイナミクス、サウンドステージ、ステレオイメージを得るために、IsoTek で注意深くチューン・アップしたセッティングトラック CD です。スピーカーセッティングを行うための 14 曲のテストトラックと、最終的なサウンドチェック用の 6 曲のミュージックテストトラックにより完璧なシステムセッティングを行うことができます。

**<注意>各トラックのサウンドイメージは、再生環境によっては再現できない、または再現しづらい場合がございます。各図はあくまでイメージするための参考としてお考えください。**

■Track1：イントロダクション

■Track2：L/R(チャンネル)テスト

■Track3：フェイズ(位相)テスト

■Track4：スピーカーポジションテスト

■Track5 - 6：サウンドステージテスト

■Track7 - 8：360° ステレオパフォーマンステスト(リスニングポジション調整)

■Track9 - 12：ステレオイメージデプステスト(スピーカー・トーン調整)

■Track13 - 14：周波数レンジテスト

■Track15 - 20：ミュージックテストトラック

(●Track 15：Eric Bibb: John Henry ●Track 16：Tiny Island: Vaquero ●Track 17：Dan & The Electrons: Shaken Not Stirred ●Track 18：Eva Taylor: Everybody Loves My Baby ●Track 19：Omnibus Wind Ensemble: Frank Zapper ●Track 20：Matthias Wager: Toccata and Fugue in D-Minor (J.S. Bach))

■Track 1 - Introduction / イントロダクション - 本 CD の紹介です。以降のトラックに従いセッティングを行います。

■Track 2 - Channel evaluation / L/R(チャンネル)テスト - L/R ch が正しいか確認します。

- ① Lch からガイドが流れます。
- ② Rch からガイドが流れます。
- ③ 中央(左右のスピーカーの中央)から音声流れます。

■Track 3 - Phase Test / フェイズ(位相)テスト - フェイズ(位相)が逆相になっていないか、スピーカーの L/Rch の+/- の接続を確認します。

- ① inPhase(正相)でガイドが流れます。
  - ② OutofPhase(逆相)でガイドが流れます。
- その後、inPhase と Out of Phase が交互に流れます。

■Track 4 - Loudspeaker Position & Adjustment / スピーカーポジションテスト - 声によるガイドとカスタネットの音により、最適な L/R サウンドイメージ得るためスピーカーポジションを調整します。部屋が極端に狭い場合を除き、本トラックでの調整が可能です。

① Lch スピーカーから (Left LoudSpeaker) カスタネットとガイドが流れた後、Rch スピーカー (Right LoudSpeaker) からカスタネットとガイドが流れます。その後、Left LoudSpeaker と Right LoudSpeaker を数回繰り返します。Left LoudSpeaker と Right LoudSpeaker の音量・壁からの距離、センターポジションからの距離などを確認し同様の音が聴こえるように調整します。

② センターと Lch スピーカーのちょうど中間から (Half left) カスタネットとガイドが流れた後、センターと Rch スピーカーのちょうど中間から (Half right) カスタネットとガイドが流れます。その後 Half Left と Half Right を数回繰り返します。各音声がセンターと L/Rch スピーカーのちょうど中間から聴こえるように調整します。音がスピーカー付近から聴こえる場合は外側に移動します。

③ Lch スピーカーより少し外側の位置から (Extreme left) カスタネットとガイドが流れた後、センターから同じ距離で Rch スピーカーより少し外側の位置から (Extreme right) カスタネットとガイドが流れます。その後 Extreme left と Extreme right を数回繰り返します。各音声が同じ距離から聴こえるように調整します。音がスピーカー付近から聴こえる場合は内側に移動します。

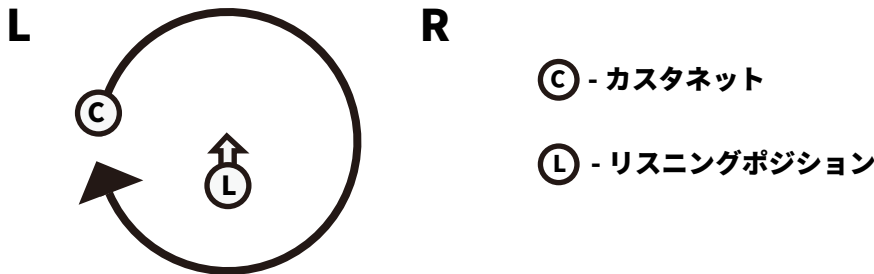
④ L/Rch スピーカーの中間(Center)からカスタネットとガイドが流れます。

■Track 5,6 - Soundstage Test / サウンドステージテスト - Lch からセンターを通り Rch へカスタネットが移動します。このように聞こえない場合は Track4 の調整をやり直します。

■Track 7,8 - 360 degree test/360° ステレオパフォーマンステスト (リスニングポジション調整) - 360°ステレオイメージを実現するための調整を行います。このトラックではリスニングポジションの前後を調整します。

Lch からセンターを通り、Rch へ移動しその後背後に回り 360°移動しながらカスタネットが流れます。このトラックは部屋の大きさ、スピーカーと壁の距離など様々な要因が上手くいったときによい結果を得られます。よい結果が得られない場合、後ろの壁から離すなど前後にリスニングポジションを調整します。

・音の移動イメージ (上面図)



■Track 9 - Introduction to stereo image depth / ステレオイメージデプステスト (スピーカー・トーイン調整) - ステレオイメージで奥行を感じれるよう調整を行います。このトラックではスピーカーのトーインを調整します。以下①～④では、センターの音がスピーカーのちょうど中間に位置しながら、左右の音の音量・距離など同様の音が聞こえるようにトーインを調整します。

①ある位置から (通常、L/Rch スピーカーから数 m 後ろの位置から聞こえます)、センター、左側の壁 (from wall to the left)、右側の壁 (from wall to the right) と順次にかスタネットとガイドが流れます。

②①を基準として前の位置から、センター、左側の壁 (from wall to the left)、右側の壁 (from wall to the right) と順次にかスタネットとガイドが流れます。

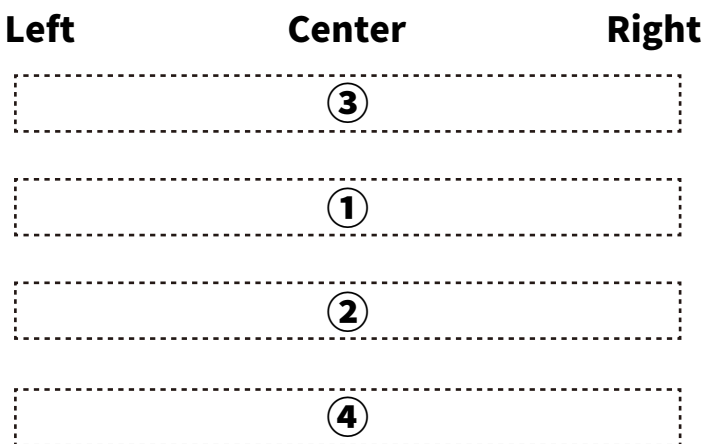
③①を基準として後ろの位置から、センター、左側の壁 (from wall to the left)、右側の壁 (from wall to the right) と順次にかスタネットとガイドが流れます。

④②を基準として前の位置から、センター、左側の壁 (from wall to the left)、右側の壁 (from wall to the right) と順次にかスタネットとガイドが流れます。

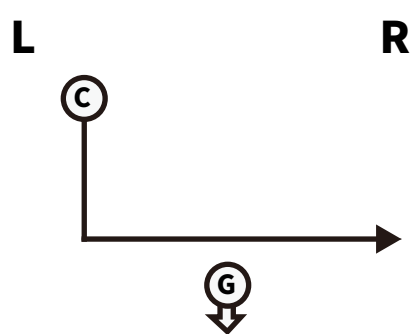
⑤ガイド (声) をセンターとして、ガイドの左側 (Lch) からガイドの後ろを通り右側 (Rch) へカスタネットが移動します。

・音の移動イメージ (上面図)

①～④



⑤

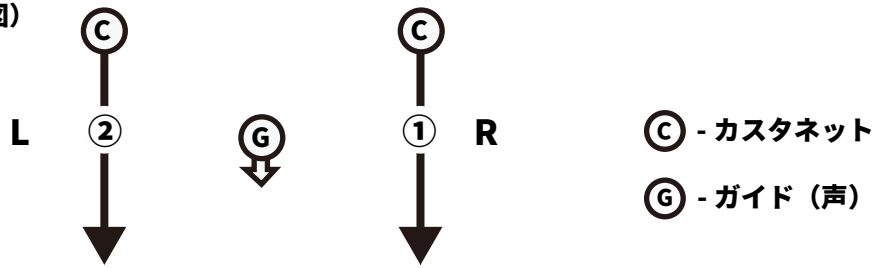


Ⓒ - カスタネット

Ⓔ - ガイド (声)

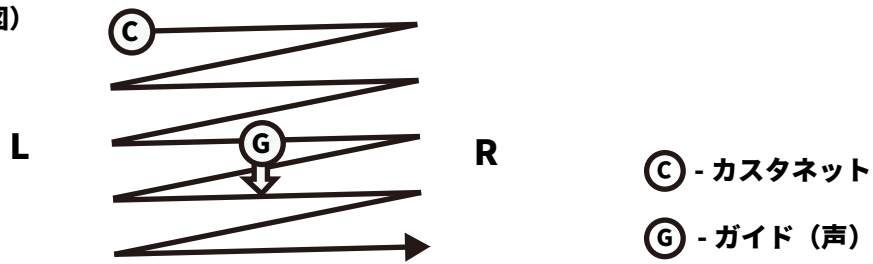
■Track 10 - Stereo image depth test 1 / ステレオイメージデプステスト 1 - Track 9 での調整結果を確認します。このトラックではガイド（声）の位置は変わりません。①ガイドの右後ろの位置から、カスタネットの音が段々前の方に進みます。②ガイドの左後ろの位置から、カスタネットの音が段々前の方に進みます。

・音の移動イメージ（上面図）



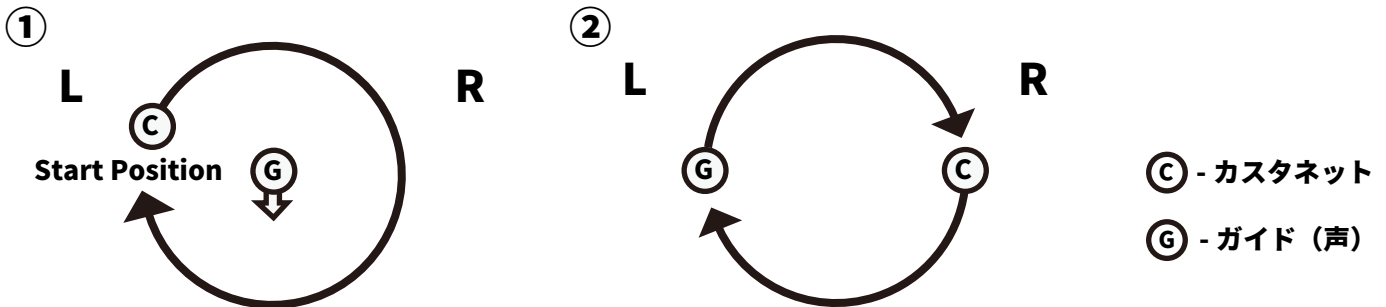
■Track 11 - Stereo image depth test 2 / ステレオイメージデプステスト 2 - Track 9 での調整結果を Track 10 と違う順番で確認します。Track 10 同様、このトラックではガイド（声）の位置は変わりません。ガイドの左後ろの位置から、左→右→左→右とへカスタネットの音が段々前の方に進みます。

・音の移動イメージ（上面図）



■Track 12 - Stereo image depth test 3 / ステレオイメージデプステスト 3 - Track 9 での調整結果を最終的な確認します。①初めはガイド（声）の位置は変わりません。ガイドの左から時計回りにガイドの後ろを通り、右側へカスタネットが移動します。その後、ガイドの前を通り一周してガイドの左に (Start Position) カスタネットが戻ります。②ガイドとカスタネットの音が同時に対角線上に位置しながら一周します。

・音の移動イメージ（上面図）



※同時に対角線上に移動

■Track 13 - Frequency Range Test - Increasing / 周波数レンジテスト (昇順) - 20Hz, 43Hz, 93Hz, 200Hz, 430Hz, 930Hz, 2000Hz, 4300Hz, 9300Hz, 20000Hz の音が順番に 10 秒ごとに流れます。低音が大きく聴こえすぎる場合は、Lch,Rch のスピーカーの距離を離します。高音が大きく聴こえすぎる場合は、スピーカーを外ぶりにします。

■Track 14 - Frequency Range Test - Increasing / 周波数レンジテスト (降順) - 20000Hz, 9300Hz, 4300Hz, 2000Hz, 930Hz, 430Hz, 200Hz, 93Hz, 43Hz, 20Hz の音が順番に 10 秒ごとに流れます。低音が大きく聴こえすぎる場合は、Lch,Rch のスピーカーの距離を離します。高音が大きく聴こえすぎる場合は、スピーカーを外ぶりにします。

■Track 15~20 - Music Test Tracks / ミュージックテストトラック - 実際に曲を聴いてパフォーマンスを確認します。

- ・ Track 15 : Eric Bibb: John Henry - 音の雰囲気、ディティールの再現性の確認に最適です。
- ・ Track 16 : Tiny Island: Vaquero - サウンドステージの深さ、ワイド感の確認に最適です。
- ・ Track 17 : Dan & The Electrons: Shaken Not Stirred - 音のタイミング、ダイナミクスの確認に最適です。
- ・ Track 18 : Eva Taylor: Everybody Loves My Baby - 音の雰囲気、サウンドステージのトータビリティの確認に最適です。
- ・ Track 19 : Omnibus Wind Ensemble: Frank Zapper - サウンドステージの深さ、ワイド感の確認に最適です。
- ・ Track 20 : Matthias Wager: Toccata and Fugue in D-Minor (J.S. Bach) - 低音の深さ、ダイナミックレンジの確認に最適です。